



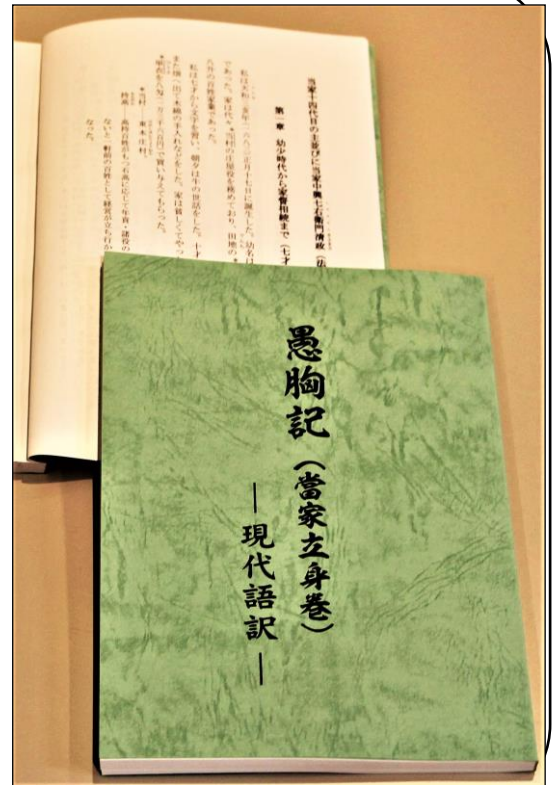
ぐきょうき  
『愚胸記』の現代語訳が完成！

播磨町指定文化財である『愚胸記』(『當家立身卷』)の  
現代語訳が完成しました。読んでみませんか？

江戸時代中期の古文書で、東本庄村の  
庄屋をつとめた「梅谷七右衛門清政」が、  
子孫のために執筆したものです。

家族や子孫への熱い思いが、つづられて  
います。また、当時の村の様子や社会情勢  
などを知ることができます。

この貴重な歴史資料は、播磨町郷土資料館  
「古文書を学ぶ会」の方々が、ほぼ2年間  
かけて解読してくださいました。



編集・執筆：播磨町郷土資料館「古文書を学ぶ会」  
発行：播磨町教育委員会・播磨町郷土資料館  
2023年(令和5年)3月、A5版(100ページ)、500円